

ブレインワークス

大手向け人事給与パッケージ

中堅規模対象に拡販

営業体制見直し コスト削減アピール

ブレインワークス(東京都港区、岩田晴夫社長、03・6713・9000)は、人事給与パッケージ「ポジティブ」の拡販に乗り出す。同パッケージは従来、従業員3000人以上の大手を対象に展開しているが、このほどエスペック向けに1600人規模に対応する同パッケージを用いた人事給与システムを構築し、1000~2000人規模でも高い導入効果が見込めると判断した。

エスペックは環境試験 ける。構築したシステム 経て、4月に稼働を開始機器の開発・販売を手が ーは約9カ月の導入期間を した。国内グループ会社

を含めた3社の従業員約1600人に関する技術や評価考課、社宅、退職金などの人事給与関連情報を一元管理する。

エスペックではこれまで他社製品などの複数システムを用いてデータを分散管理していたため、業務運用が煩雑になり、管理者の負担増になっていた。新システムはウェブを通じて従業員が個人情報や給与明細を照会できる。また、データの整合性を図るメンテナンス作業なども不要となり、年間約2000時間の作業工数削減が見込める。加えて、人事関連業務に必要な多様な機能を実装

した。これにより追加開発費用も抑えられる。ブレインワークスは4月に同パッケージの営業体制を、従来の顧客層である従業員3000人以上の大手向けと、1000~2000人規模の中堅向けの2部隊に編成した。エスペックでの採用を機に中堅規模のニーズにも対応できるとして、パッケージ機能だけで構築するコスト削減型のシステム導入を提案。パッケージを拡販する。